



適正施工・管理で顧客安心の環境確立

第4回定時総会 一括契約、生涯保証システム加入など促進

当協会は平成28年6月10日、福島市のウェディングエルティで第4回定時総会を開き、27年度事業・収支決算を審議承認したほか、28年度事業計画・収支予算を報告した。28年度は一括契約の推進や県浄化槽生涯保証システムの加入促進、猪苗代湖周辺での窒素・リン除去高度処理浄化槽の設置促進などを図る。新規事業として県との災害協定締結に向けた協議も進める。



会員ら約100人が出席した第4回定時総会

会員ら約100人が出席した。大河原正一会長は「浄化槽が大きな役割を果たすよう県、市町村に働きかける」と、28年度にスタートする復興・創生期間においても県土復興に貢献する活動を展開していく考えを示すとともに、「浄化槽による汚水



あいさつする大河原会長

処理整備区域拡大に向けた提言、みなし浄化槽等の転換促進などを進めるほか、適正な施工、保守点検などを通して顧客が安心して浄化槽を設置し使用できる環境を確立したい」とあいさつした。来賓の鈴木勉県生活環境部次長、山本克也福島市副市長らが祝辞を述べた。28年度は、11条検査の受検率向上と施工・保守点検・清掃の適正化を図るため一括契約の実施を全県下に拡大するほか、県浄化槽生涯保証システムの加入促進を図り、浄化槽が恒久的な生活排水処理施設として県民の信頼が得られるよう努める。猪苗代湖周辺での浄化槽の適正な維持管理に向けて、高度処理浄化槽の設置を促進。単独処理浄化槽やくみ取りトイレから合併処理浄化槽への転換を促進するためのPR活動、施工・維持管理技術の向上に向けた講習会なども行う。

災害時における浄化槽の被害状況調査や応急処置・復旧への協力等に関する協定の締結に向けて、県と協議を開始する。

総会の席上、28年春の叙勲で旭日単光章を受章した本多昌雄前副会長を紹介し、大河原会長が業界発展に尽力した功績をたたえた。各種功労者の表彰も行い、受賞者を代表して矢野倉弘さんが「恒久的な排水処理施設として期待の大きい浄化槽に携わるわれわれの社会的使命は重要。復興道半ばの福島県が一日も早く本来の姿に戻るよう日々精進を重ね、協会・業界の発展に努めたい」と謝辞を述べた。

また総会に先立ち、シャンソン歌手であり、民話等の語り部としても活躍する紗羽しゅうこさんが「未来へつなぐ〜古(いにしえ)からの贈り物」と題して特別講演した。総会後の懇親会前には、紗羽さんとピアノ伴奏・藤野恵美さんによるミニコンサート「すばらしいシャンソンの夕べ」も開催し、会員らがプロの歌声を堪能した。

表彰受賞者は次の通り。

▽全国浄化槽団体連合会長表彰状＝吉田孝行（須賀川支部・吉田総業）▽同感謝状＝齋藤和夫（伊達支部・齋藤電建工業）佐久間俊也（浄化槽検査委員会福島支所長）▽県浄化槽協会長表彰状＝矢野倉弘（郡山支部・福島日化サービス）▽同職員功労者表彰（永年勤続）＝船山啓一（浄化槽検査委員会いわき支所長）日下部純司（同会津支所長）



功労者表彰を受ける受賞者（上）と講演する紗羽さん

当協会に理事長感謝状 日本環境整備教育C 創立50周年記念式典

第30回全国浄化槽技術研究集会 鳴原専務に楠本賞

(公財)日本環境整備教育センターが主催する「第30回全国浄化槽技術研究集会」が平成28年10月17日、東京ビッグサイトで開催された。式典の席上、当協会の鳴原己八専務理事兼事務局長に浄化槽研究奨励・楠本賞が贈呈された。

鳴原専務は27年10月に郡山市のホテルハマツで開かれた同研究会福島大会で発表した研究課題「間欠ばっ気運転による溶存酸素量の時系列解析について」が評価された。

式典に先立ち行われた研究発表では、当協会浄化槽検査委員会会津支所の澁谷祐輔検査員が「尾瀬地区における汚水処理の現状に関する報告」と題して、会津支所を代表して研究成果を発表した。



発表する澁谷検査員

翌18日には、同教育センターの前身である日本浄化槽教育センターが西暦1966年の

創立から50年を迎えることを記念して、創立50周年記念式典が開催され、同センターの功労者表彰で、当協会に理事長感謝状が授与された。また、浄化槽関係事業の発展向上への功績が認められ、鳴原専務理事兼事務局長に環境大臣表彰が贈られた。



環境大臣表彰を受ける鳴原専務(上写真右)と50周年記念式典に出席した大河原正一会長(右から4人目)ら

長林氏に環境大臣表彰 11条検査受検率向上に貢献

当協会前副会長・当協会浄化槽検査委員会前委員長の長林久夫日本大学名誉教授が、平成28年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰(浄化槽関係事業功労者)を受賞し、28年10月3日に東京・飯田橋ホテルグランドパレスで開催された「浄化槽の日」第30回全国浄化槽大会の席上、表彰状が授与された。



環境大臣表彰を受賞した長林氏

長林氏は、平成17年5月から10年間、当協会理事に就任し、同時に副会長および浄化槽法定検査事業を所管する浄化槽検査委員会の委員長として、学識経験者の立場から協会の発展と公衆衛生の向上に寄与した。

浄化槽法定検査の受検率や検査精度の向上について、学術的見地からの的確な指導・助言を行い、効率的な検査を推進し、福島県の11条検査受検率の飛躍的な向上に大きく貢献した。

また、本県の河川や湖沼(阿武隈川、猪苗代湖等)の水環境の保全や、本県沿岸部の海岸堤防の新基準設定など沿岸水域環境の保全と防災にも尽力し、本県の

復興に多大な功績を残している。

本多氏に旭日単光章 28年春の叙勲 240人が功績たたえる

平成28年春の叙勲で、環境衛生功労により旭日単光章を受章した本多昌雄氏(当協会前副会長、本多設備工業会長)の受章祝賀会は28年8月27日、石川町の八幡屋で行われ、会員など浄化槽関係者が本多氏の功績をたたえた。



謝辞を述べる本多氏

発起人の大河原正一当協会会長をはじめ、宮田秀利埴町長、増子輝彦参議院議員、



孫たちから祝福される本多氏(右から2人目)

根本茂全国環境整備事業協同組合連合会相談役ら関係者約240人が出席した。大河原会長は「持ち前の環境に対する先見性やリーダーシップを発揮し、これまで指揮をとっていただいた。当協会から叙勲受章者が誕生したことは、業界発展や社会的地位の向上につながった」とあいさつ。

来賓の宮田町長は「今回の叙勲は、何事にも誠実、真剣に取り組んできた結果だ。今後の活躍にも期待し

ている」と述べ、増子議員、宮川政夫県議会議員、根本相談役らが祝辞を寄せた。関係者やお孫さんが本多氏に花束と記念品を贈呈した後、本多氏は「受章は一人の力ではない。多くの同志や業界関係者の協力によるものだ。今後も業界や地域社会発展のために尽力していきたい」と謝辞を述べた。

鏡開きにつき、岡光義県環境整備協同組合連合会長の発声で乾杯し、参加者は本多氏の叙勲を祝った。

関係3団体が県に要望

補助制度 予算確保し創設・拡充を



(左から)尾形部長、高松市長、大河原会長、山川副会長

当協会は28年10月19日、県合併処理浄化槽普及促進協議会(会長=高松義行本宮市長)、県環境整備協同組合連合会(岡光義会長)と合同で、県に対して、浄化槽関連予算の充実と浄化槽関連新規事業の創設を求める要望活動を行った。

大河原正一会長、高松市長、山川正人県環境整備協同組合連合会副会長が県庁を訪れ、尾形淳一県生活環境部長に要望書を提出。住宅の新・増改築を県費補助の対象外としている浄化槽設置整備事業と環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業の制度拡充などを訴えた。

要望は①浄化槽設置整備事業の必要予算確保②みなし浄化槽(単独処理浄化槽)等から浄化槽への一層の転換促進③浄化槽市町村整備事業の県補助率アップ④猪苗代湖周辺地域での浄化槽維持管理費用の助成⑤環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業の県費補助拡充の計5項目。

このうち、設置整備事業は、21年度の制度改正で対象外となった住宅の新築・増改築にかかる県費補助の復活を要請。みなし浄化槽の転換促進については、21年度に撤去費用の補助制度を創設したものの、管理者の費用負担が依然大きく十分ではないとして、補助額的大幅な引き上げと、新たに配管設置費用にかかる補助制度創設に必要な予算の確保を求めた。市町村整備事業は、県負担分の補助率アップを要請した。

環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業につ

いては、県費補助制度の改善を求め、そのために必要な予算の充実を要望。猪苗代湖周辺地域で設置が義務付けられている窒素・リン除去型浄化槽は、通常と比べ割高な維持管理費用の負担軽減を訴えた。

要望に対して、尾形部長は「予算確保に最大限努力して、市町村等と連携して浄化槽事業が促進できるよう取り組みたい」と回答、大河原会長らと意見交換した。県生活環境部の渡辺俊次次長(環境共生担当)、鈴木勉同(環境保全担当)、目黒信二一般廃棄物課長、高橋満参事兼水・大気環境課長、当協会の鳴原己八専務理事、県合併処理浄化槽普及促進協議会の遠藤良一本宮市上下水道課長、県環境整備協同組合連合会の榊田泰明専務理事が同席した。

公的施設の補助制度創設を

みなし浄化槽の転換 県議会に29年度予算へ反映要望

当協会は28年9月8日、県庁で県議会各党・各会派に対して、県の29年度予算に浄化槽関連予算を充実させるよう要望した。浄化槽の設置や維持管理に関する助成制度の改善・創設



自民党に要望する大河原会長

を求める内容で、新規で公的施設の単独処理浄化槽転換に対する県費補助制度の創設を求めた。

大河原正一会長、岡光義副会長をはじめ役員、支部事務局ら13人が県庁を訪れ、29年度県予算編成に向けて自民党、民進党・県民連合、公明党に要望書を提出した。

要望は①浄化槽設置整備事業における必要な予算の確保②みなし浄化槽等から浄化槽への一層の転換促進③浄化槽市町村整備事業における県補助率のアップ④浄化槽の維持管理に対する助成制度の創設。

みなし浄化槽等の転換促進では、「公的施設単独処理浄化槽集中転換事業」として市町村設置型で浄化槽整備を行う市町村の転換を支援する国の動きに合わせ、県に公的施設の単独処理浄化槽の早期解消に向けて補助制度を創設するよう訴えた。撤去費の補助額引き上げと、配管設置に対する補助制度の創設も求めた。

28年度技術講習会

スキルアップ図り、県民からの信頼確保

適正な施工・維持管理体制の確立図る

当協会は、浄化槽設備士や浄化槽管理士、清掃実務者、浄化槽行政担当者等を対象として、浄化槽の維持管理技術と施工技術に関する各講習会を開催。①最新の浄化槽行政の情報提供②浄化槽の適切かつ安全な施工方法、目覚ましい技術革新に伴う最新技術の習得③浄化槽の機能維持を図るための知識の習得を行い、県民から信頼される施工・保守管理体制の確立に向けて、会員らのスキルアップを図った。

適正な維持管理に関する講習会

浄化槽の適正な維持管理技術に関する講習会を28年9月29日、郡山市の郡山ユラックス熱海で開催し、最新型浄化槽の維持管理のポイントなどを研修した。会員254人、会員外33人、行政担当者25人、出展者21人の計333人が受講した。

当協会の田原義久維持管理部長が「浄化槽の品質は向上したが、常に維持管理技術向上に努めていかなければならない。講習で学んだことを今後の業務に役立ててほしい」とあいさつ。高橋貴大福島労働局労働基準部健康安全課安全衛生係主任が「近年の労働災害の現状と労働災害の防止」、全国浄化槽推進市町村協議会講師を務める山田胤雄熊谷市環境衛生協議会会長が「浄化槽の理解を深めるための取り組み」、笠原理化工業の永島達実氏が「水質測定機器類の動作確認の結果」について講義した。



講義する山田氏（上）と水質測定機器の動作確認（笠原理化工業）



メーカーが最新型浄化槽の構造・機能と維持管理の留意点などを情報提供。「C A型」をフジクリーン工業(株)東北支店技術課の小河原康浩氏、「K Z型」を(株)

クボタ滋賀工場CS推進グループマネージャーの本田和之氏、「浄化王NEXT」をニッコー(株)水創り事業部技術開発部の山下雅大氏、「KTG型」を(株)ハウステック第三営業本部営業企画チームの大沼正也氏が説明した。

会場内では浄化槽カットモデルや水質検査機器、浄化槽顧客管理システム等の展示も行った。

適正な施工技術に関する講習会



浄化槽の適正な施工技術に関する講習会が29年2月2日、郡山ユラックス熱海で開かれた。約200人が関係法令や法定検査結果を踏まえた施工上の留意点、小型合併処理浄化槽の施工方法などを学んだ。賛助会員らによる環境計測機器や水質測定器類の展示、説明も行われた。



あいさつする吉川施工部長（上）と講義する五十嵐専門建築技師

会員94人、賛助会員4人、会員外54人、県・市町村の担当者40人らが受講。当協会の吉川昭施工部長が「日本で開発された浄化槽は年々機能が向上している。現場でより良い施工ができるよう有意義な講習会にしてほしい」とあいさつした。

五十嵐浩一県土木部建築指導課専門建築技師が「建築基準法における浄化槽の取り扱い」、当協会浄化槽検査委員会の大河内吉二検査部長が「法定検査における施工状況」をテーマに講義。全国浄化槽推進市町村協議会講師の山田胤雄氏が「浄化槽の適正な工事～小型合併処理浄化槽の施工方法」と題して、処理対象人員



参加者が浄化槽カットモデルや検査機器の展示を「見て・触って・撮って・動かして！」

の算定や引渡しまでの工事フロー、浄化槽の施工方法などを説明した。

福島工商、フジクリーン工業、アロン化成、日環商

事、笠原理化工業、福島コンピューターシステム、鶴見製作所の7社が浄化槽関係機器等に関する製品展示や情報を提供した。

笠原理化工業、東浜工業の施設見学

28年度会員視察研修会 製造工程などへの理解深める

当協会は平成28年11月11日、12日の2日間、埼玉県などで会員施設視察研修会を行い、笠原理化工業(株)と東浜工業(株)の施設を見学した。

正会員・賛助会員20人が参加した。当協会賛助会員でもある笠原理化工業（埼玉県久喜市吉羽1丁目10の10）では、K R K製品の製造工程などを見学。浄化槽のプロワー・制御盤を製造する東浜工業は、本社・久喜工場（埼玉県久喜市河原井町13・久喜菖蒲工業団地）と清久工場（同市清久町6の3・清久工業団地）の2カ所を視察した。

両社施設での研修終了後、視察研修で恒例の酒蔵巡りとして、聖酒造(株)の「赤城蔵」を訪問。猿ヶ京温泉

に移動して懇親会を開き、参加者同士の親交を深めた。NHK大河ドラマ「真田丸」で人気を博した「上州沼田真田丸展」なども見学した。

浄化槽に関する相談事業

当協会は、公益目的事業の一環で「浄化槽に関する相談事業」を行っており、浄化槽管理者や一般県民から相談、質問、問い合わせなどを受け付け対応している。

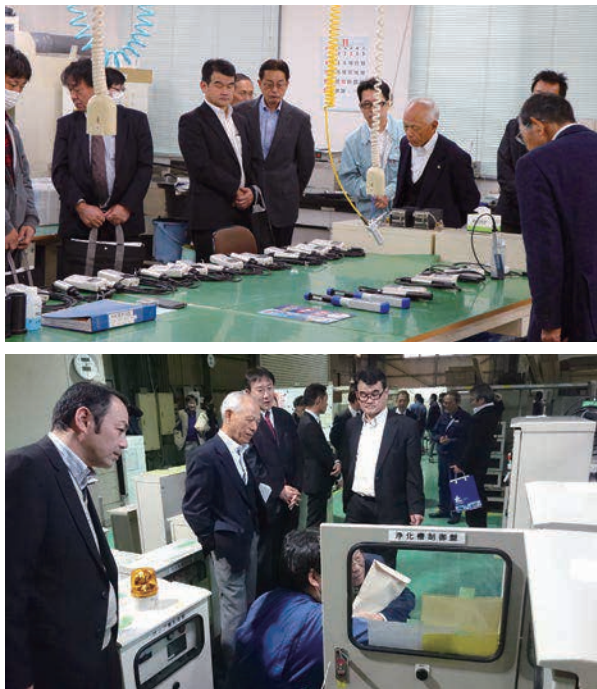
管理者、県民の質問受付 経験豊富な検査員が対応

浄化槽に対する信頼の確保および浄化槽を安心・安全に使用・利用できることを目的に、ホームページを利用したメールまたは電話での相談等に応じている。相談者への助言や回答は、法定検査業務に長く携わり、経験豊富で浄化槽に対する専門的な知識や技術を持つ当協会職員の検査員が担当している。

主な相談等の内容は次の通り。

- 浄化槽の保守点検回数や保守点検料金について
- 浄化槽の清掃の回数（頻度）・料金・委託先について
- 住宅の購入に際し、既存浄化槽等の取り扱いについて
- 浄化槽の使用方法等について
- 浄化槽を休止する場合の維持管理等について

笠原理化工業（上）と東浜工業の工場を見学する参加者



平成28年度 会員の入会状況

	支部	会社名	代表者名	所在地	電話番号	業種別	入会日
正会員	双葉	草野建設(株)	草野 正	〒979-0605 双葉郡楢葉町大字大谷字鐘突堂19-10	(0240) 25-3121	工事業	28.4.1
	須賀川	(株)東北エアコン	草野 修	〒962-0032 須賀川市大袋町119	(0248) 76-1952	工事業	28.4.1
	須賀川	(有)半沢設備	半沢 清吉	〒962-0301 須賀川市今泉字町内337	(0248) 65-2481	工事業	28.4.1
	喜多方	(有)塚原ホーム	塚原 広志	〒966-0012 喜多方市関柴町下柴字東住485-1	(0241) 22-4521	工事業	28.7.1

平成27年度 不適正の内訳

該当項目のみ抜粋

項目	件数						
	7条		11条				
	~50	51~	単独		合併		51~
			~50	51~	~50	うちBOD測定	
〔外観検査〕							
01. 水平の状況						1	
02. 浮上または沈下の状況						1	
03. 破損又は変形の状況			7	1	2	(1)	4
04. 漏水の状況	1		38	4	19	(7)	13
05. 溢流の状況							1
07. 嵩上げの状況	3		12		4		
08. 浄化槽上部及び周辺の利用または構造の状況	1		4	2	6		2
09. 雨水の流入状況	9	2	1		6	(1)	6
14. 接触材、ろ材、担体等の固定及び保持状況	1		9		122	(43)	6
15. ばっ気装置の固定状況				1	1		2
17. 汚泥返送装置及び汚泥移送装置の固定状況					1		2
20. 膜モジュールの固定状況							1
21. 消毒設備の固定状況	1		4	1	2		
22. 越流ぜきの固定状況			4		7	(2)	2
23. 隔壁、仕切板及び移流管(口)の固定状況			5				
24. その他の内部設備の固定状況	1		22	28	1		4
25. 設置場所の状況	1				1		
26. 流入管渠及び放流管渠の設置状況	24		6	2	48	(9)	16
27. 送風機の設置状況			2		4	(1)	
28. 増改築等の状況	1				7		4
〔設置状況の小計〕	43	2	114	39	233	(64)	63
29. ポンプの稼働状況	1		1		9		
30. 送風機の稼働状況			42	2	104	(55)	2
42. その他の設備の稼働状況							2
〔設備の稼働状況の小計〕	1		43	2	113	(55)	4
43. 流入管渠(路)の水流の状況							1
53. 平面酸化床及び散水ろ床の水流の状況			4	4			
54. 沈殿槽及び処理水槽の水位及び水流の状況					1	(1)	
58. 腐敗室、沈殿分離槽及び嫌気床槽の汚泥の堆積状況または成状況			1		5		
61. 沈殿槽の汚泥の堆積状況またはスカムの生成状況			1				
66. 汚泥の流出状況			1				
〔水の流れ方の状況の小計〕			7	4	6	(1)	1
67. 油脂類の流入状況					1		
70. 流入汚水量、洗浄用水等の使用の状況			1		9	(3)	3
〔使用の状況の小計〕			1		10	(3)	3
73. 消毒剤の有無	7		19		28		1
74. 処理水と消毒剤の接触状況	3				1		
〔消毒の実施状況の小計〕	10		19		29		1
浄化槽設置届出書の記録	1				5	(1)	
〔その他の小計〕	1				5	(1)	
〔水質検査〕							
・ 残留塩素濃度	1	1	9	2	21		1
・ 生物化学的酸素要求量	4				2		
〔水質検査の小計〕	5	1	9	2	23		1
〔書類検査〕							
・ 保守点検記録の有無 (保守点検未実施)	169	2	29	5	161		8
・ 保守点検の回数					6	(6)	
〔保守点検記録の小計〕	169	2	29	5	167	(6)	8
・ 清掃記録の有無 (清掃未実施)	1		327	23	1,288	(37)	117
・ 記録の内容					17		4
・ 清掃の回数			4				
〔清掃記録の小計〕	1		331	23	1,305	(37)	121
合計	230	5	553	75	1,891	(167)	202

注) ()内はBOD測定の不適正数である

問題のあった検査項目